



大学と地域の防災・減災ミーティング

神奈川県下の大学で、学生が主体となって防災・減災活動を行う団体はごくわずかです。今回は、神奈川県下で活発に防災・減災活動を行っている大学と学生、住民の方々、大学研究者、これを支援する市民団体・ボランティア団体などが集まり、大学・地域と学生、ボランティア団体等の連携を深めるための防災・減災ミーティングを開催します。

○開催日時：令和元年（2019年）6月23日（日）
13時～17時（予定）

○開催場所：神奈川大学1号館1-804号室



第1部：先進例に学ぶ学生の防災・支援活動

- ・「東日本大震災における石巻専修大学学生の取組とその後の活動の継続・展開」
大矢根 淳 専修大学人間科学部教授（日本災害復興学会会長）
- ・「桐蔭横浜大学の学生消防団活動と学生消防団連携の取り組み」
佐藤 榮一 桐蔭横浜大学客員教授
- ・「1,800人の生徒を“避難者”から“救助者”に」
川崎市立川崎高等学校 小林和紀 教諭

第2部：学生主体の防災・減災活動の展開と連携促進

- ・「学生が考える防災連携」（やまと災害ボランティアネット+高・大学生）
 - ・「神奈川大学“BOUSAI Club”（学生自主防災会）の設立/
大学・地域と連携した学生主体の防災・減災活動の展開について」
神奈川大学4年 越智徳有 / 神奈川大学4年 水戸ダニエル
- ※その他、発表を希望される団体等は、お申し出ください。

第3部：防災ミーティング（大学・地域・学生等の連携促進）

○参加費：無料（定員 80名）

○主催：かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク

○共催：防災塾・だるま、神奈川災害ボランティアネットワーク

○後援：神奈川大学

○参加申込・問い合わせ先：(株)防災&情報研究所

e-mail：idpis2@idpis.co.jp

Tel：03-3249-4120

Fax：03-3249-7296

令和元年防災・減災ミーティングの開催にあたって



神奈川県は、大地震や風水害、火山災害などの災害危険がきわめて高い地域です。阪神・淡路大震災や新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、広島豪雨災害や九州北部豪雨、平成30年7月豪雨等では、神奈川県からも自治体やボランティア団体等が、被災した地域に支援活動に赴いています。

一方で、神奈川県においては、風水害や箱根山の噴火災害等が発生しており、今後発生が懸念されている首都直下地震等にいかに取り組むかなど、課題は山積んでいます。

本ネットワークは、平成25年度から3年をかけて実施した文部科学省からの助成研究「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」によって把握された、神奈川県下の地方自治体、企業、学校、研究者や地域の防災に取り組む方々と支援する方々をつなぎ、平成28年3月に発足しました。その後、平成29年11月と平成30年2月などに、自治体、自主防災組織、ボランティア団体、学校、大学研究者等からの発表やグループワークなどからなる研究集会を、成功裡のうちに開催してきました。

防災・減災活動推進の鍵は、いかに日頃から“顔の見える関係を築いているか”にあると言えます。

このたび、専修大学や桐蔭横浜大学、川崎市立高校などから講師をお呼びするとともに、活発に活動している学生なども発表を行い、防災・減災活動を活性化するにはどうしたら良いか意見交換を行います。学生や住民の方々、教師、企業、自治体、消防署・消防団の方々など、多彩な顔ぶれが集う本防災集会が、大学と地域・学生達が連携して活動を展開していく上での一助になればと願っています。

“かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク”（代表 神奈川大学教授 荏本孝久）

<ミーティング会場案内>

- ・ 神奈川大学1号館8階 1-804号室

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区
六角橋3-27-1

TEL: 045-481-5661 (代)

- ・ 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」
下車 徒歩 13分



神奈川大学1号館8階

2019年6月23日（日） 防災ミーティング 参加申込書	
参加団体名（所属団体）	
参加者氏名	
連絡先	電話番号 e-mail address:
連絡先住所	
備考	